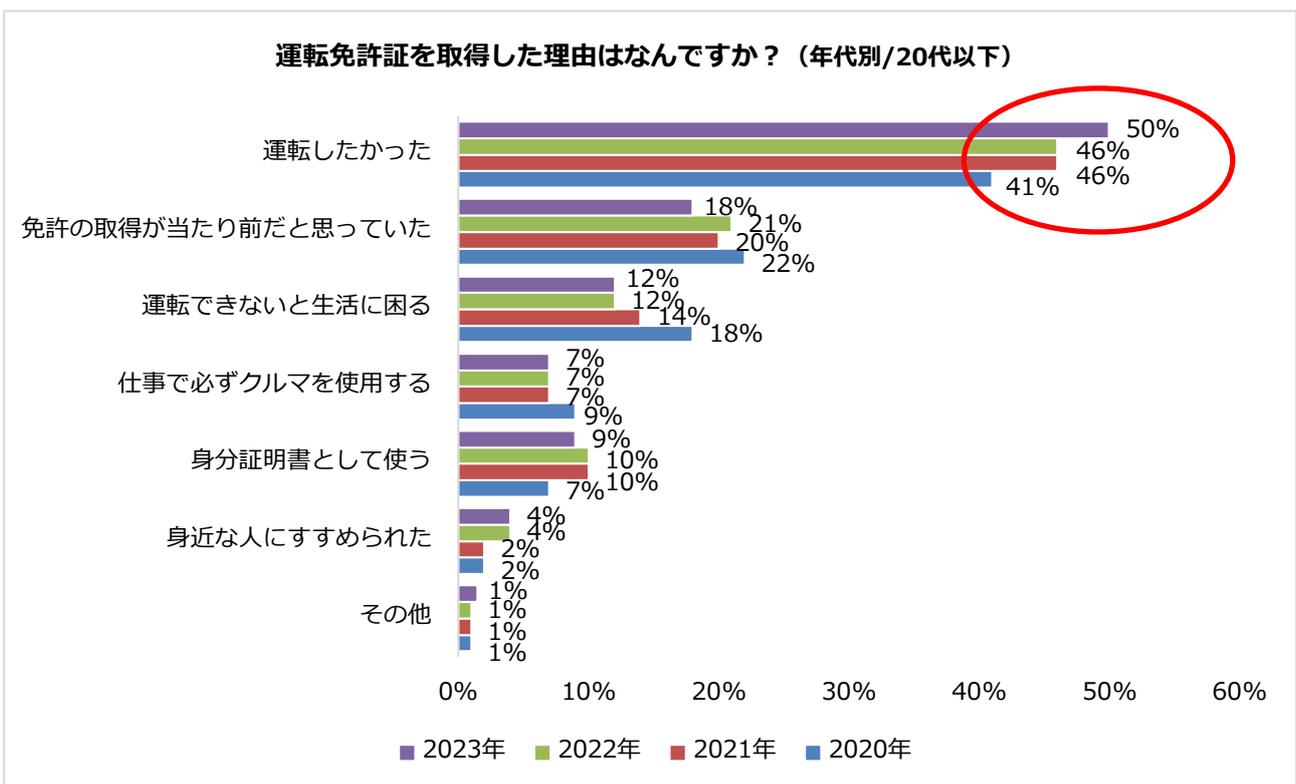
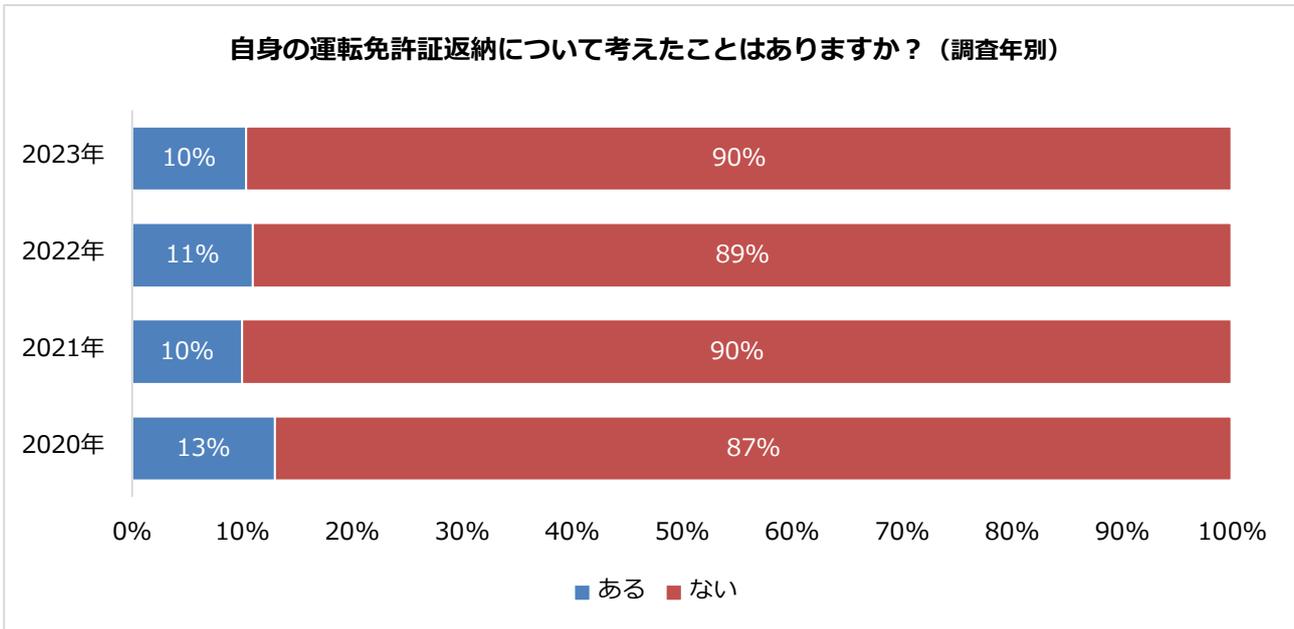


20代以下で1位となった「運転したかった」の回答比率は過去の調査結果と比べ増加傾向にあります。経済的な理由でクルマの購入は難しいものの、カーシェアリングサービスの普及などにより、気軽にクルマに乗ることができる環境が広がりつつあることが影響しているものと思われます。

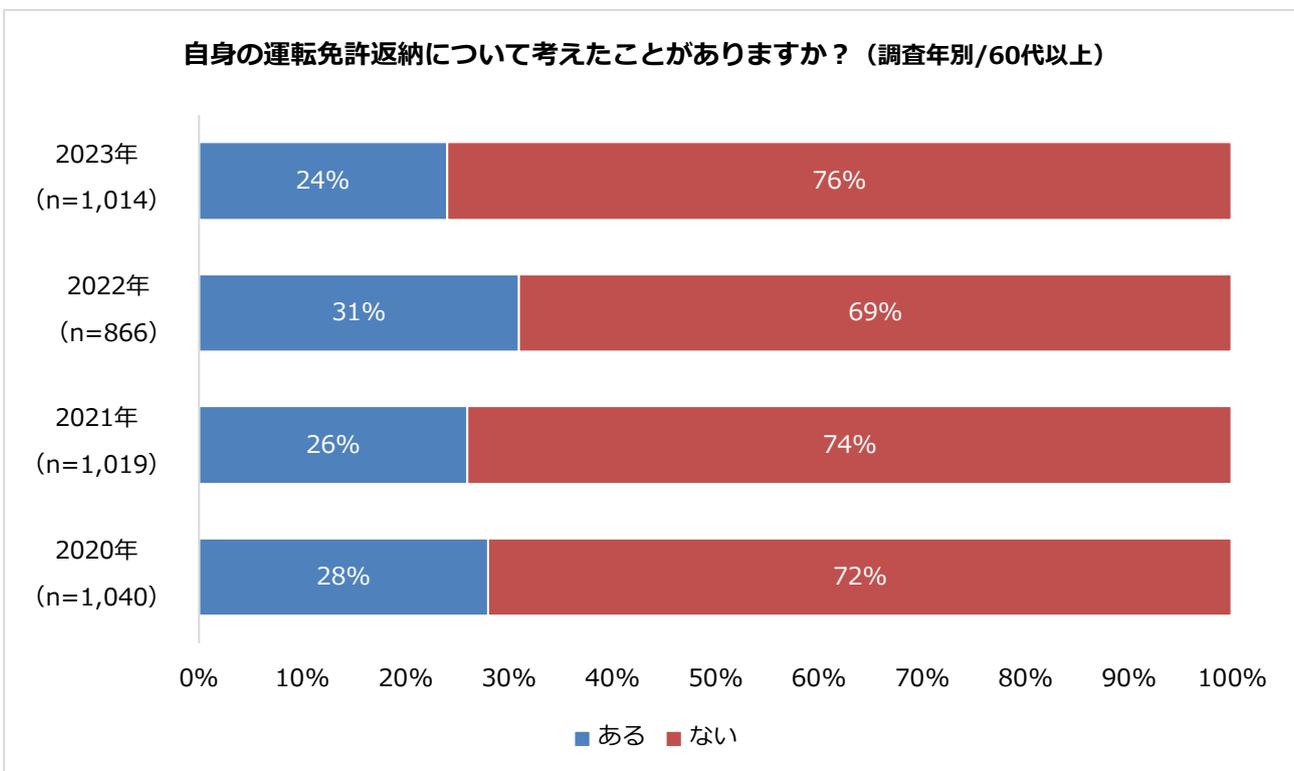


② 60代以上の4人に1人は自身の運転免許証返納について検討

自身の運転免許証返納について考えたことが「ある」と回答した人は10%で、これまでの調査結果から大きな変化はありませんでした。



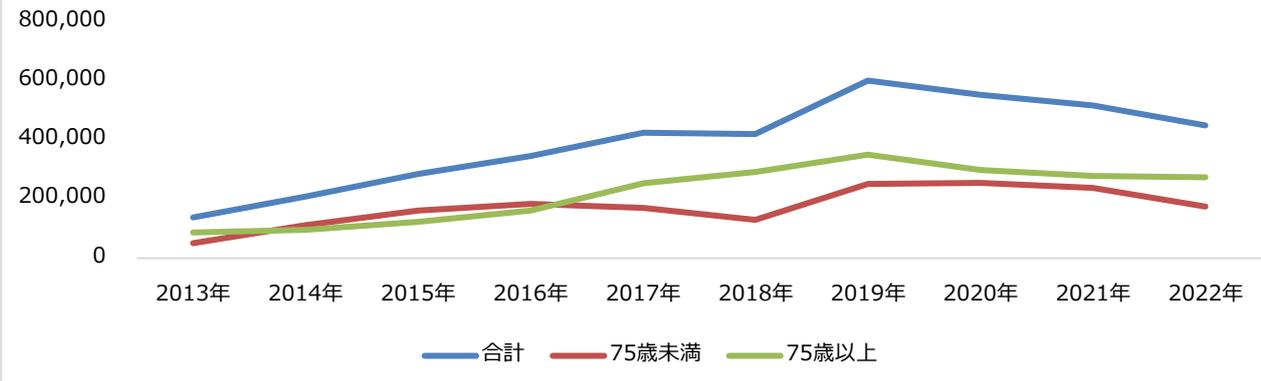
60代以上の回答を調査年別で見ると、2020年に調査を開始して以来、今回の24%は最も低い結果となりました。



警視庁が公表しているデータによると、運転免許証の自主返納件数は2019年をピークにコロナ禍は減少傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の感染による重症化のリスクが高い高齢者が、人との接触を避けるための移動手段にクルマを利用していることが関係しているものと思われます。



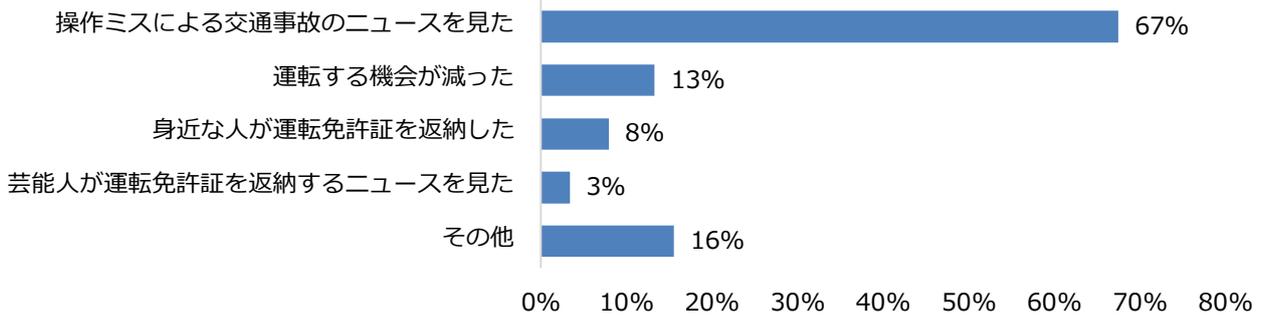
<参考> 警視庁：運転免許証の申請取消（自主返納）件数



運転免許証の自主返納を考えたきっかけは、「操作ミスによる交通事故のニュースを見た」67%がダントツとなり、次いで「運転する機会が減った」13%、「身近な人が運転免許証を返納した」8%となりました。「その他」には「運転技術の衰えを感じることもあるから」といった回答が見られました。

運転免許証返納を考えたきっかけはなんですか？

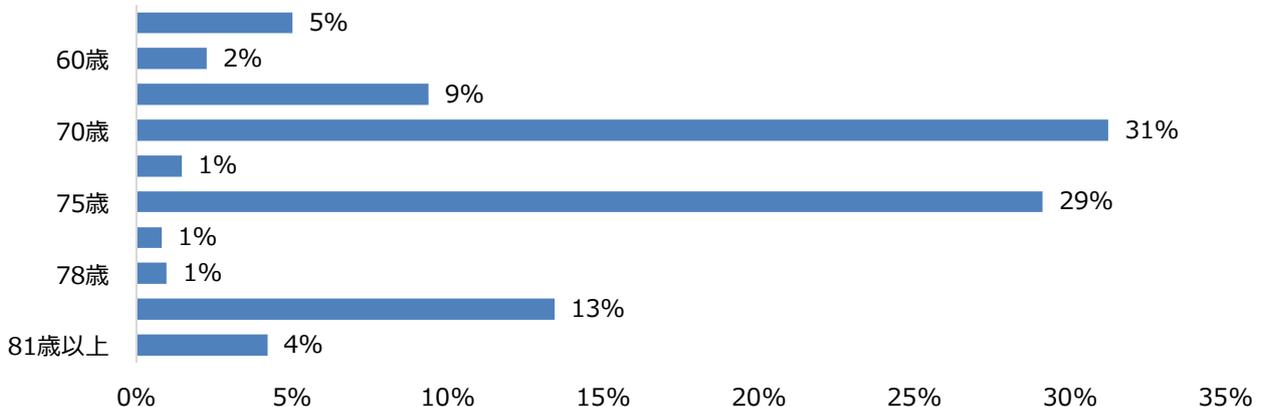
(複数回答/ 運転免許証返納について考えたことが「ある」と回答した人 n=618)



運転免許証返納について考えたことがある人に、自主返納する場合の想定年齢を聞いたところ、「70歳」31%が最多でした。以降、「75歳」29%、「80歳」13%と続いています。自主返納を考えている人の半数以上が70～75歳の間に返納を考えていることがわかりました。

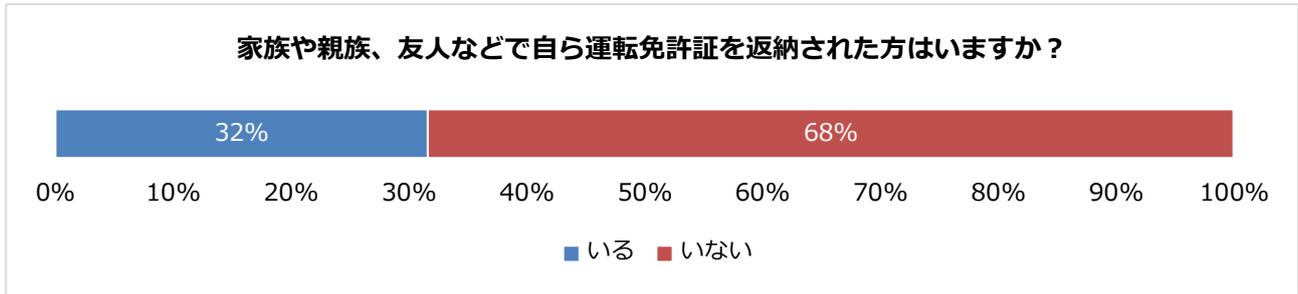
もしご自身が運転免許証を自主返納する場合、何歳くらいだと思いますか？

(具体的な数字を記載する方式 / 運転免許証返納について考えたことが「ある」と回答した人 n=618)

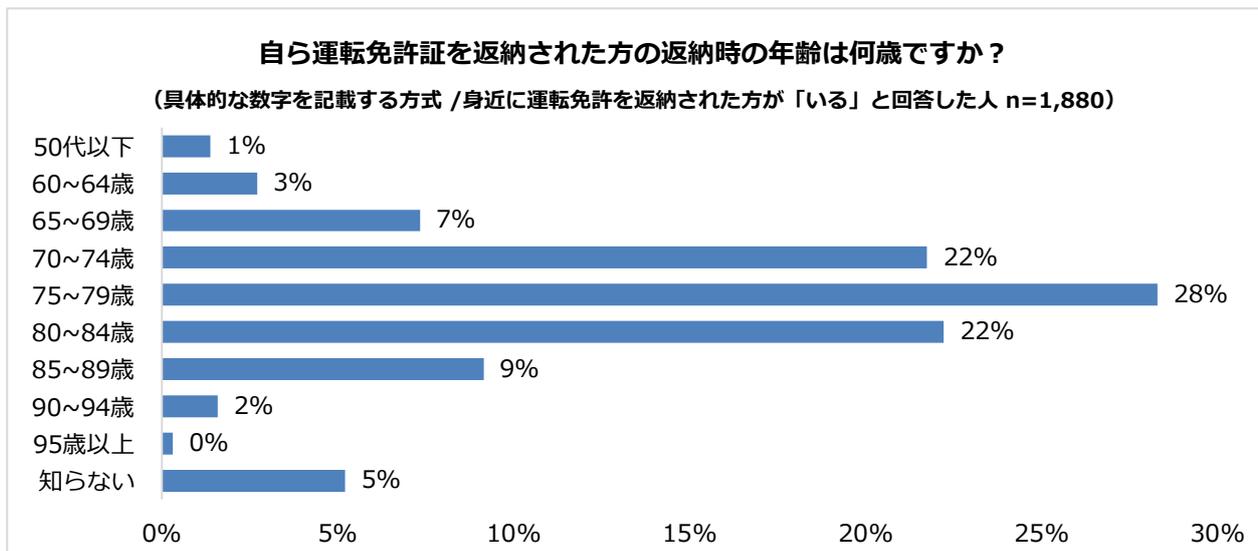


③ 身近に運転免許証を自主返納した人がいるのは3割

家族や親族、友人などで自ら運転免許証を返納された方が「いる」と回答した人は32%でした。



身近で運転免許証を自主返納した方の年齢は、「75歳～79歳」28%が最多となりました。次に「70～74歳」と「80～84歳」が同率で22%となり、70歳～84歳の間に返納している人が7割を超えました。



今回のアンケートでは、昨今「クルマ離れ」と言われる20代以下の半数が「運転したかった」を理由に運転免許証を取得しており、クルマの運転意欲は年々高まっていることがわかりました。

60代以上では、自身の運転免許証の返納について考えたことが「ある」の回答比率が過去4回の調査で増減するなど、感染症による生活環境の変化や事故のニュースなどが影響しているものと考えられます。

75歳以上になると運転操作不適による死亡事故比率は、75歳未満の1.75倍というデータ※が出ています。現在では、運転操作不適を防止する衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い加速抑制装置などを装備したサポートカーが多く発売されています。ご自身やご家族とともに、免許保有のあり方や安全なサポートカーへの切り替えについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

※出典：令和元年版交通安全白書 特集「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策について」

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2022年2月16日以降に入会し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方)

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2023年2月16日～2023年2月22日

有効回答者数：5,949名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

— お問い合わせ先 —

パーク24株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当者 渡邊・中尾・花房
電話：03-6747-8121 Eメール：pr@park24.co.jp ホームページ：https://www.park24.co.jp/